

第1回定例会

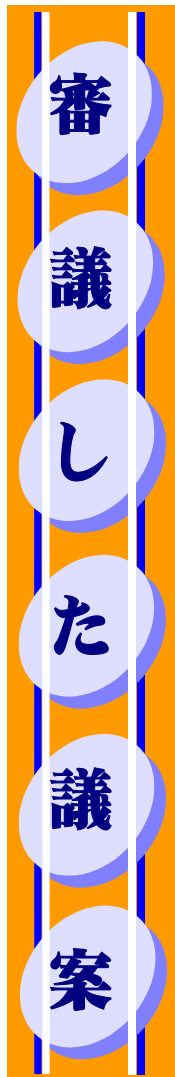
第1回定例会が3月9日から16日で開催され、平成23年度一般会計ほか6特別会計予算を審議し、原案のとおり可決しました。

・審議した議案

**平成23年度当初予算総額は
75億4416万円 (前年比9.5%増)**
一般会計は53億3516万円 (前年比21%増)

...老人保健特別会計は22年度で終了...

- 平成23年度佐呂間町一般会計予算
 - 平成23年度佐呂間町簡易水道特別会計予算
 - 平成23年度佐呂間町国民健康保険特別会計予算
 - 平成23年度佐呂間町公共下水道特別会計予算
 - 平成23年度佐呂間町介護保険特別会計予算
 - 平成23年度佐呂間町介護サービス事業特別会計予算
 - 平成23年度佐呂間町後期高齢者医療特別会計予算
- 平成23年度各会計予算については、議長を除く8名による予算特別委員会に付託され審議を行い、原案可決としました。
- その後本会議において但木委員長より審査結果報告がなされ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決となりました。



平成23年度 佐呂間町各会計当初予算

単位：千円

会計区分	23年度当初予算	22年度当初予算	対前年度増減額	増減率	
一般会計	5,335,163	4,409,031	926,132	21.0%	
特別会計	簡易水道	257,111	485,693	△228,582	△47.1%
	国民健康保険	864,574	908,589	△44,015	△4.8%
	老人保健	—	872	△872	—
	公共下水道	242,650	239,435	3,215	1.3%
	介護保険	548,431	530,488	17,943	3.4%
	介護サービス事業	227,727	246,231	△18,504	△7.5%
	後期高齢者医療	68,511	70,855	△2,344	△3.3%
合計	7,544,167	6,891,194	652,973	9.5%	

委員長報告の要旨、特別委員会での質疑の内容は7、8頁に掲載しています。



第1回定例会

条例制定1件、条例改正7件の審議を行い、すべて可決しました。

・審議した議案

23年度の 主な事業

- ・任意予防接種助成事業 930万円
- ・新規就農者奨励補助金 1107万円
- ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 8億190万円
(町負担額はTMRセンターの補助分で1億5千万円)
- ・住宅用太陽光発電システム設置事業費補助金 300万円
- ・町有林整備事業 (保育・造林・素材生産) 1635万円
- ・漁港修築事業地元負担金 5396万円
- ・プレミアム付全町共通商品券発行事業 2060万円
- ・トータルタイヤ販売促進事業 274万円
- ・緊急雇用創出事業 656万円
- ・住宅建設促進事業費補助金 1550万円
- ・佐呂間30号道路改良舗装工事 2600万円

- ・浜佐呂間川口道路改良舗装工事 1600万円
- ・佐呂間幸町第2新幸道路改良舗装工事 1700万円
- ・佐呂間二六町道路改良舗装工事 1100万円
- ・若佐公営住宅新築工事 1億7342万円

条例

- 佐呂間町ふれあい交通網整備事業基金条例の制定について
昨年9月末で湧網線代替バスの運行が終了したことに伴い、佐呂間町国鉄湧網線代替輸送確保基金を廃止し、ふれあい交通網整備事業基金に積み替えるため条例の制定をするものです。
- 佐呂間町収入証紙条例の一部を改正する条例制定について
佐呂間町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について

有料ごみ袋に小袋を新設!!
一枚10リットル入りで20円

現行の有料ごみ袋は15リットル、30リットル、45リットルとなっていますが、小家族の方など更に小さいごみ袋も使用したいとの要望があり、今回新たに10リットルで20円のごみ袋を追加するため関係条例の改正を行いました。

制定について

現行の出産育児一時金は35万円、経過措置として平成23年3月末までは4万円の上乗せがありましたが、4月以降は恒久的に出産育児一時金を39万円とするため条例の一部改正を行ないました。

- 佐呂間町立佐呂間保育所条例の一部を改正する条例制定について
佐呂間町立へき地保育所条例の一部を改正する条例制定について
保育料について、国の基準額表が7階層から8階層に改正されたため、本町においても12階層に分類されていた保育料算定のための階層を13階層に変更するため条例の一部改正を行いました。
- 佐呂間町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
佐呂間町総合介護条例の一部を改正する条例制定について
介護保険法の条文改正により、本町の条例も条文改正を行うものです。
- 佐呂間町総合介護条例の一部を改正する条例制定について
牧野の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
酪農家戸数の減少により乳牧頭数が減少していることから、現在14箇所ある町の牧場を7箇所に変更するための条例改正が行われました。

第1回定例会

平成22年度一般会計ほか7特別会計の補正予算を原案のとおり可決しました。

・審議した議案

：平成22年度各会計補正予算：

国からの地域活性化交付金合わせて89921万円！！

□平成22年度佐呂間町一般会計補正予算(第9号)

4億6308万円が追加され、予算の総額が51億7691万円になりました。

【主な歳入】

・普通交付税

4億5384万円

・地域活性化・きめ細かな交付金

6791万円

・地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金

2130万円

・財政調整基金繰入金

4741万円

・減債基金繰入金

2000万円

・各公共施設整備基金繰入金

2900万円

・ふれあいバス運行業務委託事業費債

1180万円

・プレミアム付商品券発行事業費債

2050万円

【主な歳出】

・備荒資金組合超過納付金積立金

2億5000万円

・財政調整基金積立金

1億5000万円

・若佐コミセン駐車場整備工

事 1440万円

・ふれあいバス車両購入費

1400万円

・佐呂間厚生病院運営損失負担金

4000万円

・漁港修築事業地元負担金

1209万円

・武道館・温水プール改修工事

3024万円

・佐呂間町簡易水道特別会計繰出金

2712万円

・佐呂間町国民健康保険特別会計繰出金

1936万円

・佐呂間町公共下水道特別会計繰出金

3164万円

□平成22年度佐呂間町簡易水道特別会計補正予算(第4号)

2811万円が減額され、予算の総額が5億354万円になりました。

□平成22年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

1559万円が減額され、予算の総額が9億410万円になりました。

□平成22年度佐呂間町老人保健特別会計補正予算(第2号)

276万円が追加され、予算の総額が374万円となりました。

□平成22年度佐呂間町公共下水道特別会計補正予算(第1号)

1454万円が減額され、予算の総額が2億2489万円となりました。

□平成22年度佐呂間町介護保険特別会計補正予算(第3号)

2561万円が減額され、予算の総額が5億1704万円となりました。

□平成22年度佐呂間町介護サービス事業特別会計補正予算(第4号)

財源変更。補正額に増減なし。

□平成22年度佐呂間町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

216万円が減額され、予算の総額が6868万円となりました。



補正予算
質疑の中から

◎簡易水道の工事費の減額について

【質】今回工事費を減額しているが、工事の安全性などにはないか。
【答】工事を発注するときの詳細な設計で金額が落ちると、受注した会社の企業努力もあり、予算額よりも落ちた

◎介護保険料の未納者の介護サービスについて

【質】介護保険料の収納率が96%となっているが、4%の未納の方々に対する介護事業が停止しているようなことはないか。
【答】滞納している方で実際にサービスを受けている方はいなく、サービスを受ける場合は介護認定が必要ですが、未納者はその認定も受けていない人なので、サービスそのものにはまだ影響する状況はありません。

第1回定例会

・ 審議した議案

3件の意見書を可決し関係省庁に提出しました。

その他案件5件の審議を行い原案どおり可決しました。

意見書

□ 新たな高齢者医療制度に関する意見書の提出について

厚生労働省が発表した後期高齢者医療制度に変わる新制度の骨格で現在の後期高齢者の大部分を国保で引き受けるとしている。

新制度は、高齢者や国民が安心して医療が受けられる制度となるよう要望する意見書が可決され、内閣総理大臣ほか関係大臣宛提出しました。

□ 地域医療存続のための医師確保に関する意見書の提出について

医師不足の現状は、深刻な社会問題となっており、地域医療が崩壊する危機的状況が生じている。

平成16年に始まった新医師臨床研修制度により地方の医師不足が深刻な状況であり早急な改善策が求められることから、医師不足地域での数年

間の勤務義務など医師派遣体制を構築する法的措置を講じるよう要望する意見書が可決され、衆参両院議長ほか関係大臣宛提出しました。

□ 平成23年度畜産物価格決定等に関する要望意見書の提出について

北海道の酪農、畜産は牛乳乳製品及び食肉の安定供給に加え、地域経済、社会、雇用等を支える基幹産業として重要な役割を果たしている。

しかし、配合飼料などの高騰による生産コストの上昇、景気悪化による消費の減少や生産者手取り価格の低迷など厳しい状況にある。また、TPP交渉への参加問題、日豪EPA交渉など市場開放をめぐって危機的な状況にさらされている。

一方、国は10年後の食料自給率を50%へ向上させる目標のため各種施策を総合的に推進していくとしている。

したがって、わが国の食料供給を支える北海道の酪農畜産が、食料自給率向上に寄与し持続的発展をするためには、所得補償政策と経営安定

政策の確立など総合的な酪農・畜産政策を推進するよう強く要望する意見書が可決され、衆参両院議長ほか関係大臣宛提出しました。



その他

□ 北海道市町村総合事務組合規約の変更について

□ 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

本年4月より道立紋別病院が紋別市、雄武町、興部町、滝上町、西興部村で組織する一部事務組合による経営となることから、これら組合規約に広域紋別病院企業団を追加するものです。

佐呂間コミュニティセンターに係る指定管理者の指定について

佐呂間コミュニティセンターの指定管理者の指定を次のとおり議決しました。

・ 指定する指定管理者
佐呂間町商工会

会長 関東 俊彦

・ 管理を行わせる期間

平成23年4月1日から

平成28年3月31日

佐呂間町老人福祉センターに係る指定管理者の指定について

佐呂間町屋内ゲートボール場に係る指定管理者の指定について

老人福祉センターと屋内ゲートボール場の指定管理者の指定を次のとおり議決しました。

・ 指定する指定管理者
社会福祉法人

佐呂間町社会福祉協議会

会長 宇佐美 不二夫

・ 管理を行わせる期間

平成23年4月1日から

平成28年3月31日